

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月12日

事業所名 星うさぎ（児童発達支援事業所・放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	57%	43%		当事業所は基準以上の広さを用意している。
	2	職員の配置数は適切であるか	14%	72%	14%	基準以上の職員配置をしている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	14%	58%	28%	建物の構造上、完全なバリアフリーは難しいがわかりやすく、安全に過ごすことが出来るような配慮はしているが死角になる部屋がある。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	57%	43%		毎日の清掃等について、チェック表を用いて漏れがないように工夫している。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14%	72%	14%	業務改善に向けて意見の集約をしている。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	28%	72%		引き続き職員会議にて業務改善への意識づけをしていきたい。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	58%	42%		ホームページに掲載している。職員への周知が足りていない。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14%	72%	14%	現在は第三者による外部評価は実施していない。今後の課題である。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14%	58%	28%	今後も研修の機会を増やしていく。各職員には自己研鑽を奨励している。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	28%	72%		基本年2回支援計画書を作成している。独自のアセスメント表を使用している。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	28%	72%		5領域に基づく計画書を作成している。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	28%	72%		子どもたちの特性に合わせてながら、個別、集団活動の内容の検討。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	14%	72%	14%	今後も、支援計画書の内容を全職員への周知のあり方を検討していく。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	43%		職員参画の中で進めているが全職員のアイデアが集約できるようにしていきたい。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	28%	72%		固定しないよう工夫をしているが今後も職員の意見を集約し、活動の内容を検討していきたい。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	28%	72%		平日、休日の過ごし方については、スケジュールに沿いながら柔軟に対応している。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	28%	44%	28%	時間差出勤の職員がいる為、どのようにしたら、情報共有できるのか再検討していきたい。

適切な支援の提供 (続き)	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14%	58%	28%	その日の振り返りがどのようにしたら、職員間で情報共有できるように取り組んでいきたい。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	43%	57%		日々の経過を記入し、支援の検証につながるようにしている。記録の内容の充実を課題とする。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	28%	44%	28%	基本、半年ごとのモニタリグ、計画書の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	28%	72%		開催される場合は、児童発達支援管理者が参加している。
	2	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	14%	72%	14%	学校によっては、状況の情報共有をしている。
	3	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	28%	58%	14%	今後、移行支援が必要であれば、情報提供を行っていきたい。
	4	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14%	58%	28%	専門機関との連携はできていない。
	5	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28%	28%	44%	近くの公園遊びでは、地域の子供たちと交流できている。場面設定をしているのではなく自然の流れで交流ができていることは素晴らしい。
	6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		28%	72%	学生の実習受け入れをした。地域住民については、検討していきたい。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	28%	72%		契約時に説明を実施している。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	28%	72%		基本、年2回保護者の方と面談し、状況説明と計画書の説明を行っている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	28%	72%		今後の課題としたい。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	28%	72%		連絡ノートや電話等で説明している。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	42%	52%		希望に応じて行っている。

保護者への説明責任等（続き）	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		52%	42%	父母の会は開催していない。共に参加できる行事を計画していきたい。	
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28%		72%	苦情体制は整えている。なにかあれば遠慮なく連絡いただくように説明している。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14%		86%	分るように見えるか化を工夫している。	
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14%		72%	14%	行事予定については、利用予定表に記入している。活動内容をLENで発信しているが、今後、ホームページやInstagram等を検討する。
	10	個人情報に十分注意しているか	42%		58%	今後も個人情報の取り扱いについては細心の注意をしていく。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14%		72%	14%	周知ができていない。発信のあり方を検討。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	57%		43%		年2回実施するように計画している。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	42%		58%		事業所内の会議で実施しているが、参加できていない職員への周知を図っていく。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	14%		58%	28%	身体拘束は行っていない。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	43%		43%	14%	医師の指示書でなく保護者よりアレルギーについて確認した子どもについて対応している。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	28%		58%	14%	再度、ヒヤリハット記入の必要性を職員へ周知を行う。